



環境に優しい...
それほんと?
～紙の利用について～

長野県上田染谷丘高等学校 1年6組 太田桃菜

～この課題に関わるSDGsの番号～



～テーマ設定の理由～

こんにちは！

今回私がこのテーマに設定した理由は、ずっと疑問に思っていたからです。今は色々な企業がSDGsのことを考え、活動を行ってくださっています。それはとても素晴らしいことです。ですが、それを伝えるためによく **プリント**が配られます。また、**プラスチック削減**のため、**紙が使われる**ことがあります。私はそれは本当に地球にいいのか？とずっと思っていました。そして調べてみるとやはり紙を使うこともいいことばかりではありませんでした。それを伝えるためにこのテーマにしました。



～現状～

・いろんな工夫がなされ、計画的に行われている場合もあるが、紙をつくるため、森林が伐採されたり、大量のエネルギーと水が使用されている。

・また、たくさんの薬品も使用され、環境破壊が起こる。

・紙ゴミも増え、埋め立てられ、分解する際メタンガスを発生させる。

・紙の消費量 世界3位

・学校や企業でポスターやプリント類に紙が多く使われる

→その多くは環境に配慮した紙ではない。

・プラスチック削減を意識し、紙は使ってもいいという人が多い。(紙袋、紙ストロー、包装紙など)

・環境に良い紙を使っていたりしても、それもゴミになってしまったり再利用できていない。

・人々、企業の紙文化への意識を
変えなければならない。まずは紙の消費量を減
らさなければならない。

・紙を使えば大丈夫という意識をなくし、
プラスチックだけでなく紙のことも知って
もらわなければならない。

・紙はゴミとして捨てる人も多いため、
リサイクルできるものはしてもらわないと
いけない。

・また、必要な紙はなるべく環境に良いものをつく
れるようにしなければならない。

～課題～



～解決策～

- ・ペーパーレス化、デジタル化を進める。
（学校、企業などで）
- ・紙の問題にも目を向けてもらうため、紙の消費量を減らすこと、リサイクルについて動画の広告などで呼びかける。
- ・紙を使うとしたらなるべく森林認証制度FSCマークがついたものなど環境に良いものを使うようにする。
- ・ビニール袋の代わりに紙袋などではなく、マイバックなど 何度も使えるものを使う。企業も1人1人も。



責任ある森林管理
のマーク



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

～十代の提言～

決して紙を絶対使ってはいけないというわけではなく、環境に配慮した紙もたくさんあります。ですが、多くの人が紙について考える機会も少なく、プラスチックを減らすために、紙を使おうという考えになってしまっています。なので私は、特に 1. 企業・学校で必要でない紙は減らし、紙についての知識を広めること、2. プラスチック→紙の考え方をなくし、繰り返し使えるものを使うことをすすめてほしいと思います。例) 1. デジタル教科書、書類のデータ化、ネット広告など

2. マイバック・ストロー、水筒、シリコンラップなど

最初から大きくは変えられないかも知れませんが、「紙ストローに頼るのではなく、マイストローを持とう！」という意識だけでも少しずつ変わっていくと思います。紙のことも考えてほしいです。

～感想～

今回、「十代の提言」を考えている中で自分や自分の周りについても見直すことができました。紙は身近にあふれているけれど、調べてみると課題があってそれは自分の行動で少しずつ変えられることなんだと気づきました。それに、企業の取り組みは正しいものばかりだと思っていましたが、そうとは限らないとも気づきました。目の前のことをすぐ信じるのではなく、自分で調べて、行動していきたいと思います。それに、環境にいい紙やシリコンラップはすごく調べていて興味を持ったのでこれからも調べていこうと思います。